

みなこだっ子のいいところ・すてきなところ

2月2日は節分でした。

節分の行事に、豆まきがあります。昔の人は、良いものを福、悪いものを鬼にたとえ、自分の中の悪いものを追い出し、良いものを取り入れる意味をこめて「鬼は外」「福は内」と言いながら豆をまいたと言われています。

みなさんも、自分の中の悪いものを追い出し、良いものを取り入れていきたいですね。



さて、これまでみなこだっ子のみなさんを見てきて、たくさんのいいところやすてきなところを見つけることができました。たくさんの中から、今日は3つ、みなさんに紹介しようと思います。



1つ目のすてきなところは、「読書」をがんばっているところです。

毎日、長休みや昼休みになると、たくさんの方が図書館に来ています。目標を達成して教頭賞や校長賞をもらった人もいます。残りの2月と3月で、自分で決めた目標に向かって、がんばりましょう。



2つ目のすてきなところは、「あいさつ」です。

自分から先に、大きな声で、目を見てあいさつができる人がとても増えてきました。地域の人からも「あいさつをしてくれる子がたくさんいて元気をもらえます」といううれしい声も聞くことができました。これからも、すてきなあいさつができると、気持ちがいいですね。



3つ目のすてきなところは、「元気に遊んだり、運動したりする子がたくさんいる」ことです。

寒い日でも、運動場や体育館で、元気に、仲良く遊ぶ人がたくさんいます。なわとびをがんばったり、握力に挑戦したりする人もいます。体を動かすことで、脳が元気になり、勉強もできるようになると言われています。これからも、どんどん体を動かして体力を高めていきましょう。

2月は1年の中で、一番日にちが少ない月です。一日一日を大切に過ごして、これからも自分のいいところをのばしていけるように、2月もがんばって続けていきましょう。